

《 都市計画部 令和3年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

部長	松尾 俊彦
----	-------

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】		
都市計画部は、人口減少社会、超高齢社会の到来を見据えて、安心して暮らせる居住環境や充実した都市機能を確保し、市域全体が魅力と活力にあふれた均衡あるまちづくりの実現を目指します。		
◆交通ネットワークとの連携を念頭に置きながら、居住や都市機能の市街地への誘導や郊外地域における拠点形成や産業支援に取り組み、将来にわたって持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進します。		
◆良好な景観の保全・活用、創出につながる、ふるさと草津の心を育む景観づくりに取り組みます。		
◆住まいと住生活の安心や魅力を守り、高めるため、良質な住宅資産の形成と活用を図るとともに、良好な市街地形成を適切に誘導するため、空き家等対策に取り組みます。		
◆災害に強いまちづくりを目指し、旧耐震構造の住宅の耐震化に取り組むとともに、災害発生時の避難経路の確保ができるように、すまい・安心支援事業に取り組みます。		
◆良好な都市環境の確保と調和の取れた秩序ある街を形成するため、開発事業への適正な指導を行います。		
◆「ひとが行き交い ひとが集い にぎわいと交流が広がる健幸なまち」を目指す中心市街地像として、中心市街地の活性化に取り組み、市民が生き生きと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいのあるまちを目指します。		
【重点事項】		
◆中心市街地活性化協議会等の各関係機関と連携を図りながら、引き続き、中心市街地の活性化に取り組みます。		
◆南草津駅に近接した市街地にふさわしい土地利用を実現し、健全かつ計画的な市街地の形成と地域の発展を目的として、南草津プリムタウン土地区画整理事業を推進します。		
◆将来を見据えた持続可能な公共交通網の整備に向け、バス交通空白地における移動手段の確保や、駅周辺の交通渋滞対策に取り組みます。		
◆旧耐震構造の住宅の耐震化率向上に向け、アクションプログラムに基づく耐震啓発に取り組みます。		
◆空き家の発生抑制の促進、空き家の適正管理の促進を図ります。		
◆空き家の利活用のため、空き家の流通促進の向上に向け、空き家情報バンクの利用促進を図ります。		
【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】		
◆立地適正化計画、草津市版地域再生計画、地域公共交通網形成計画に基づき「コンパクト・プラス・ネットワーク」の観点から、出かけたくなるまちづくりを推進します。		
◆交流機会につながるよう、空き家情報バンクの利用啓発を推進します。		
◆中心市街地活性化基本計画に基づき、まちづくり会社と連携しながら、空き店舗等を活用した新たな店舗誘致事業による出かけたくなるまちづくりの推進や、草津川跡地公園等の公共空間を活用した健幸イベント等の実施による交流機会の充実を図ります。		

【見 積】令和3年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		令和3年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
都市計画課	197,314	39,895	○東海道沿道の無電柱化にかかる本体管路工事等を行います。(都市計画課) ○バス交通空白地の解消や公共交通の利用促進のため、まめバス新規路線の実証運行等により、持続可能な公共交通網の整備に取り組みます。(交通政策課) ○災害に強いまちづくりを目指し、旧耐震構造の住宅の耐震化に取り組むとともに、災害発生時の避難経路の確保ができるように、すまい・安心支援事業に取り組みます。また、草津市空き家等対策計画に基づき、空き家等対策に取り組みます。(建築課)
都市再生課	123,617	44,309	
交通政策課	348,830	152,240	
開発調整課	9,115	4,461	
建築課	56,282	33,698	
合 計	735,158	274,603	

【前年度】令和2年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
都市計画課	72,917	45,709	
都市再生課	94,972	18,958	
交通政策課	419,458	142,321	
開発調整課	7,014	2,383	
建築課	63,949	26,179	
合 計	658,310	235,550	

【増 減】(【見 積】－【前年度】)

所 属	予算額 (千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
都市計画課	124,397	▲ 5,814	○草津市都市計画マスタープランの策定が完了することによる減(都市計画課) ○東海道沿道無電柱化事業による増(都市計画課) ○南草津プリムタウン土地区画整理事業補助金が前年より増加したことによる増(都市再生課) ○南草津駅周辺交通対策社会実験事業が完了することによる減(交通政策課) ○50戸連たん区域図修正業務委託による増(開発調整課) ○木川町狭あい道路拡幅工事が完了したことによる減(建築課)
都市再生課	28,645	25,351	
交通政策課	▲ 70,628	9,919	
開発調整課	2,101	2,078	
建築課	▲ 7,667	7,519	
合 計	76,848	39,053	

主要な事業（新規・拡大・重点事業等）（一般会計および特別会計）

事業名	事業費（千円）	一般財源	事業概要
東海道沿道無電柱化事業	159,295	11,502	市道宮町洪川線のうち、本陣周辺の約140mの区間について、電線類を地中化し無電柱化するための管路工事を実施する。
山田学区生活拠点具現化支援業務	990	990	山田学区まちづくりプランに基づく、生活拠点の形成にあたり、その具現化に向けて、デザインやイメージ図作成、拠点形成地に係る調査・検討に対し支援を行う。
まめバス実証運行（笠縫学区）	7,799	7,799	笠縫学区において、まめバス新規路線の実証運行を行い、バス交通空白地の解消を図ることで、持続可能な公共交通網の整備に取り組む。
50戸連たん区域図修正業務	1,518	1,518	都市計画法第34条第11号一般区域の図面の区域修正および窓口対応改善のための閲覧用図面の作成を行う。
空き家対策事業	6,600	6,600	草津市空き家等対策計画の改定に先立ち、改定方針を検討するための市内空き家の実態調査が必要となるため、委託による調査業務を行う。
南草津プリムタウン土地区画整理事業費補助金	91,729	13,429	南草津駅に近接した市街地としてふさわしい土地利用を実現し、健全かつ計画的な市街地の形成を図るため、南草津プリムタウン土地区画整理組合に対して支援を行い、当該事業を推進する。
中心市街地公共空間賑わい創出委託	5,755	5,755	草津川跡地公園をはじめとする中心市街地の活性化拠点を活用し、アフターコロナに対応した日常的なイベントを中心に実施することでエリア全体の賑わいと活性化を図るとともに、市やまちづくり会社の手法を参考とし、実施主体が市民や民間事業者となるイベントの波及を図る。

枠配分額（当該経費に係る予算見積上限額）に対する見積状況

所 属	一般行政経費（千円）			扶助費（千円）			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A－B	A 枠配分額	B 見積額	A－B	
			▲は枠超過			▲は枠超過	
都市計画課	15,935	15,935	0			0	○草津川ハイライン運営事業実施のため（都市再生課） ○まめバス新規路線および運行補助金実施のため（交通政策課） ○空き家等実態調査（空き家対策事業）実施のため（建築課）
都市再生課	15,543	23,848	▲ 8,305			0	
交通政策課	90,659	105,424	▲ 14,765			0	
開発調整課	0	0	0			0	
建築課	4,671	11,271	▲ 6,600			0	
合 計	126,808	156,478	▲ 29,670	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

重点事業等に位置付けた事業を効果的に実施できるよう、各事業における経費の全般的な見直しを行いました。
 都市計画課：東海道草津宿本陣通り景観形成事業交付金および宿場街道景観形成事業交付金の補助件数を見直しました。（年間計8件→年間計4件）
 都市再生課：魅力店舗誘致事業の補助件数を見直しました。（年間2件→年間1件）
 交通政策課：スケアードストレートの実施回数を見直しました。（年間3回→年間2回）